



# 学校だより

令和7年9月30日(火)  
江戸川区立一之江小学校  
校長 平川 惣一  
10月号

## 子どもたちの学力

校長 平川 惣一

6年生が4月に取り組んだ全国学力・学習状況調査。その速報値が届きました。正答率です。

	全国	東京都	一之江小
国語	67	70	72
算数	58	64	63
理科	57	60	60

この調査では国語、算数、理科の問題の他、いくつかのことを子どもたちに尋ねています。その質問の全国の結果の一部も速報として公表されています。

Q自分によいところがあると思いますか(当てはまる47.4% どちらかと言えば当てはまる39.6%)

Q友達関係に満足していますか(当てはまる64.2% どちらかと言えば当てはまる27.5%)

Q先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

(当てはまる55.3% どちらかと言えば当てはまる36.9%)

Q普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

(当てはまる54.5% どちらかと言えば当てはまる38.4%)

Q学校の授業時間以外に、普段から(月～金)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾等含)

- ・3時間以上12.4%
- ・2時間～3時間12.9%
- ・1時間～2時間29.0%
- ・30分～1時間27.3%
- ・30分以下12.8%
- ・全くしない5.6%

学校では子どもたちのさらなる学力向上に向け、以下のようなことを進めていきたいと考えています。

○暗記するだけでなく、自分で考えることを大切に、本質的な理解につなげる。

○「教える」だけでなく、子どもたちが「気付く」ような学習を大切にする。

○自分の言葉で表現するという機会を積極的に設ける。

○座学だけでなく、活動や体験を取り入れる。

○テストに向けての学習や、テスト後の分析、苦手克服などを進める。

○問題量を十分に確保し、反復練習を行うなどしながら基礎の定着を図る。

子どもたちが自ら考えたり、自分の言葉で表現したりするには一定の知識や理解、基礎的な学力が必要であると考えます。また、子どもたちが「やらされている」という思いばかりをもっているようでは、力の伸びを期待することが難しくなります。学校での授業、朝などの学習、放課後補習などを通して、基礎の定着、考え表現する機会の確保などをバランスよく進めていきます。

学校での授業の時間は1年生で約850時間、6年生で約1000時間です。仮に家庭で平日2時間、年に200日勉強したとすると1年間で400時間になります。たとえば、6年生で、家庭で学習する子は、学校と家庭で年に1400時間学習し、全くしない子は1000時間ということになります。家庭で取り組む子と取り組まない子では1.5倍近くの違いが出てくるわけで、これは学力にも大きな影響を及ぼしていきます。また、単なる時間だけでなく、家庭で学習する習慣を身に付けるということに大きな意味、価値があります。ご家庭でのご協力も何卒よろしくお願いします。

国では子どもたちの自己肯定感や満足度などと学力との相関関係なども分析を進めています。調査の結果の詳細が届きましたら、学校でも分析し、今後の取組に活かしていきたいと考えています。

### <教育目標>

- 進んで学習する子
- 思いやりのある子
- 明るく元気な子

### <10月の月目標>

- 生活指導 学校のきまりを守ろう
- 保健目標 規則正しい生活をしよう
- 給食目標 準備や片付けをみんなで協力しよう

★10月より、月行事予定表、献立表については配信、ホームページへの掲載とともに、紙ベースでも配布させていただきますこととしました。(両面になっています) よろしくお願いします。